

# 銀杏企画三丁目の掲示板

[トップページへ戻る](#)

Name	ボーダー	e-mail	
Title			
<input type="text"/>			
Message			
<input type="text"/>			
<input type="button" value="とうこう"/>			

[1806] おかげさまで半年続いています 2010年2月28日 13時34分

ブルーアイズさん e-mail

こんにちは。ブルーアイズです。

今の職場で働き始めて2月でちょうど半年たちました。  
 最初は自分なんぞが社会で通用するものか不安でしたが  
 職場が精神障害者に理解のあるところで、上司の方も親切に仕事を指導していただき  
 4人同時に採用された同じ病気の仲間で助け合って何とか続けて来れました。  
 銀杏の職員さん、就労支援センターの職員さん、ハローワークの職員さんにも大変お  
 世話になっています。  
 半年やってこれたのも、まことにみなさんのおかげさまだと感謝しています。  
 今後は1年、2年、3年と続けられたらいいなと思っています。

そして昨年は会社の忘年会に出るかでないか迷っていましたが  
 今週の木曜日にある歓送迎会に思い切って出ることにしました。  
 たぶん緊張してしまうのですが、主治医の先生にもいざという場合の頓服の薬を  
 もらっているので、その薬を忘れずに持っていこうと思います。

それではみなさん、明日からの一週間もがんばって行きましょう。

[1805] 障害者施策 応益負担廃止急げ 衆院予算委 笠井議員が求める 2010年2月27日 12時41分

国士無双さん e-mail

こんにちは、国土無双です。

昨日の国会で、自立支援法の早期廃止を訴える、議論が行われたようです。以下、赤旗の記事ですので、書き込みます。

「障害者を苦しめ続けてきた応益負担ときっぱり決別し、施策を前進させるべきだ」—日本共産党の笠井亮議員は26日の衆院予算委員会で、障害者自立支援法廃止をめぐる政府の対応をただしました。

笠井氏は、自立支援法違憲訴訟原告と政府が先月結んだ「基本合意」に、憲法に基づく障害者施策の充実がうたわれていることについて、鳩山由紀夫首相に今後の取り組みに生かすように求めました。首相は「応益負担から応能負担へ大きくかじをきりたい」と表明しました。

そこで笠井氏は、それが来年度予算案に反映されているかが問われていると指摘。低所得者への負担軽減策として当初300億円といいながら107億円しか盛り込まず、医療支援では応益負担を残したことをただしたのに対し、長妻昭厚生労働相は「検討課題となる」と述べました。

笠井氏は、「応益負担で生活の見通しが崩され、生活ももう限界」という障害者の母親の声も紹介し、公約通り応益負担をすぐ撤廃するよう重ねて求めました。

URLは、以下です。

[http://www.jcp.or.jp/akahata/aik09/2010-02-27/2010022704\\_02\\_1.html](http://www.jcp.or.jp/akahata/aik09/2010-02-27/2010022704_02_1.html)

「応益負担で生活の見通しが崩され、生活ももう限界」という障害者の母親の声が、耳に響きます。

[1803] 実態反映した政策を 2010年2月22日 13時7分

レオンさん e-mail

『しんぶん赤旗』のホームページに、以下の記事が載っていました(『しんぶん赤旗』2010年2月22日)。

2010年2月22日(月)「しんぶん赤旗」  
実態反映した政策を  
障害者センターがセミナー

民主党政権の障害者施策に対する評価や運動をめぐって、NPO法人日本障害者センター(吉本哲夫理事長)が21日、東京都内でセミナーを開きました。100人が参加。「政権の出方待ちでなく、当事者の実態を政策に反映させよう」と話し合いました。

民主党政権は障害者自立支援法を2013年8月までに廃止する予定です。政府は障がい者制度改革推進会議をつくり、総合的福祉法の制定をめざして議論を進めています。

障害が重いほど本人負担も重くなる応益負担を導入した障害者自立支援法を違憲として裁判をたたかう訴訟団と新政権が基本合意を結んだことで、同法は廃止されることに。セミナーでは合意に対する評価と今後の運動が話し合われました。

合意について、社会保障総合研究センターの三成一郎氏は「社会保障運動全体の発展にも寄与する画期的な成果」と指摘しました。民主党政権については「憲法にもと

づく社会保障の理念・原則、将来ビジョンがない」と批判。また、社会保障財源として大企業に欧州並みの財政負担を求める重要性を、データをもとに語りました。

NPO法人大阪障害者センターの井上泰司氏は「自立支援法の違憲性に対する政府の『共感』や応益負担導入への反省を文書にしたことは良かった」と述べました。一方で、「今回譲歩したものの、新政権は『構造改革』路線を続けている。『人権』を基調に、実態を推進会議にもちこみ、具体的な解決策の提案を」と訴えました。

訴訟原告の家平悟氏は、政府との交渉過程を報告しました。合意後、非課税世帯の福祉サービスなどは無料となるものの、医療費負担は存続し、課税収入のある家庭の障害児・者はまだ応益負担のままだと述べ、「運動は続く」と話しました。

実態反映した政策を/障害者センターがセミナー

[http://www.jcp.or.jp/akahata/aik09/2010-02-22/2010022214\\_02\\_1.html](http://www.jcp.or.jp/akahata/aik09/2010-02-22/2010022214_02_1.html)

「政権の出方待ちではダメだ」というのは、私も同感です。

[1802] レオンさんありがとうございます 2010年2月21日 22時6分

国土無双さん e-mail

今晚は、国土無双です。

レオンさん、内閣府の障害者制度に関する意見のアドレス教えて頂きありがとうございました。

早速、拝見しました。

機会があれば私の考えをまとめて、内閣府に提案してみようと思います。

「労働なき富」が社会の大罪なら、今の世の中、罪深い人間は沢山います。

障害者から一割の利用料徴収していた国は立派な社会的大罪犯してたんですね。

先ず、国が犯した社会的大罪から、反省し、償って頂きたいです。

今日は仕事が忙しかったのでこの辺で。

[1801] ああ、春はもうじき・・・ 2010年2月21日 20時32分

ブルーアイズさん e-mail

今日も寒かったですが、明日から少しずつ暖かくなりそうですね。  
春ももうじき訪れることでしょうか。

私も春になって暖かくなったら、よく晴れた休日の土曜日にでもぶらっと日帰りの旅行でもしてみたい気分です。

銀杏時代は工賃を使って江ノ島などをぶらっと訪れたり、高尾山に登ってきたり、けっこう手軽なお金のかからない日帰り旅をやっていました。

ここ数年事情があって日帰り旅行も控えていましたが

このごろ働き始め、日ごろの仕事の疲れをリフレッシュすべく出かけてきたい気分で

す。  
桜の花が咲くころの新宿御苑なんかもいいでしょうね。  
箱根の大涌谷で黒いゆで卵を食べてくるのもいいかな・・・

ああ、春はもうじき・・・

[1800] 障害者制度に関する意見 2010年2月21日 9時56分

レオンさん e-mail

以下のページを出して、必要事項を入力すれば、パソコンから、内閣府に、「障害者制度に関するご意見」を送ることが出来るようです。

このことは、「未来へのバトン578…障害者制度に関するご意見 など | 2009. 10. 30大フォーラム特設掲示板」で私は知りました。

これは、たぶん、「政府を装った詐欺」などではないと思いますが、信用出来るかどうか、は自分で確認してください。

内閣府共通 意見等登録システム

<https://form.cao.go.jp/shougai/opinion-0002.html>

未来へのバトン578…障害者制度に関するご意見 など | 2009. 10. 30大フォーラム特設掲示板

<http://6323.teacup.com/1031/bbs/914>

[1799] 2009.10.30大フォーラム特設掲示板 2010年2月19日 12時28分

レオンさん e-mail

「2009. 10. 30大フォーラム特設掲示板」を見ると、「障害者」問題の情報がたくさん載っていますね。[1798]の情報も、「2009. 10. 30大フォーラム特設掲示板」で、私は知りました。

2009. 10. 30大フォーラム特設掲示板

<http://6323.teacup.com/1031/bbs>

[1798] 「在日無年金」解決へ会発足 訴訟支援2団体統合 2010年2月19日 3時7分

レオンさん e-mail

「YOMURI ONLINE(読売新聞)」に、以下の記事が載っていました。

「在日無年金」解決へ会発足  
訴訟支援2団体統合

「在日無年金問題の解決をめざす会・京都」(南区)の発足集会在13日、南区の京

都テルサで行われた。年金を受給できない在日コリアンや支援者ら約100人が集まり、問題解決に向けた決意を新たにした。

在日コリアンの障害者・高齢者の無年金訴訟を支援してきた同区の2団体が統合して発足。金洙栄さんと金順喜さんが共同代表を務める。集会では、日本人支援者がこれまでの経緯を説明。機関紙などを発行して、一般の人たちへの理解を求める活動に取り組むことなどを確認した。

国民年金法にあった「国籍条項」が1982年に撤廃されたが、当時の年齢制限から、今も多くの障害者や高齢者が無年金状態のままという。

金洙栄さんは「日韓併合から100年がたった今でも差別が続いている。力をお貸し下さい」と話し、金順喜さんは「障害を持った在日だけがどうして年金をもらえないのか。人間である尊厳は日本人も在日も同じ」などと訴えた。

(2010年2月14日 読売新聞)

「在日無年金」解決へ会発足: 京都: 地域: YOMURI ONLINE (読売新聞)  
<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/kyoto/news/20100213-OYT8T01246.htm>

「障害を持った在日だけがどうして年金をもらえないのか。人間である尊厳は日本人も在日も同じ」というのは、「本当にその通りだ」と私は思いますね。

[1797] 障害者取り押さえ死亡: 遺族らが国会内で集会 2010年2月17日 19時35分

国土無双さん e-mail

今晚は、国土無双です。

酷い事件があったようです。  
 知的障害者が、警察官の暴行に遭い死亡したとのこと。  
 以下、その内容です。

佐賀市で07年、知的障害のある安永健太さん(当時25歳)が警察官5人に取り押さえられた直後に死亡した事件で、遺族や支援者らが16日、国会内で集会を開き、議員や障害者の家族らを前に真相解明を訴えた。

安永さんの死亡を巡っては、遺族が「警官の暴行が原因」として佐賀地検に特別公務員職権乱用等致死の疑いで告訴したが、同地検は警察官5人を不起訴とした。遺族は佐賀地裁に付審判請求し、同地裁は昨年3月、警察官1人について特別公務員暴行陵虐罪(のちに同暴行陵虐致傷罪に変更)で審判を開くことを決定した。

安永さんの父孝行さん(48)は「県警の説明は何度も変わった。(暴行を)目撃したが証言できないという人もいて悔しい」と訴えた。

こんな、社会で障害者が安心して、地域で暮らして行けるのでしょうか？

[1796] 「障がい者総合福祉法」の議論スタート—改革推進会議② 2010年2月16日 17時56分

国土無双さん e-mail

国士無双です。

先程の記事の続きです。

このほか、新谷委員は同推進会議での議論とは別に、国土交通省で交通体系における議論が別個に行われている例を示し、同会議とは無関係に障害者関連の施策を進めている状況を訴えた。

これに対し福島瑞穂消費者・少子化担当相は、「うまく(推進会議の)意見が反映できるように、どういうチャンネルでやったら良いのかも含め、各省庁と検討させてほしい」と述べた。

#### ■専門部会で「総合福祉法」を議論

同会議では、夏ごろまでに項目ごとに議論を行う専門部会を設置するとしていたが、東俊裕室長はこれに先行して「総合福祉法」に関する部会を3月にも設置することを提案し、了承された。

私が働いていて感じるのですが、健常者の障害者に対する態度は酷いです。口の利けない人と働きたくないなどと、聴覚障害者に対する差別発言を平気でしています。知的障害者に対しては、「ウーウー唸っている人間と仕事したくない」などと平気で言ってます。私たち障害者が頑張って健常者に合わせるのか、日本社会が障害者を受け入れる姿勢を見せるのか、運命の分かれ道です。

又、地域での生活というのは良いですが、肝心の一割負担に関する部分が欠落しています。

障害者の自立にとって経済的問題は不可分です。

早く、国は予算を計上して、一割負担の廃止と、徴収した負担金を返還するべきです。原告団が国と和解したそうですが、徴収した一割負担金の返還要求の裁判も行ったほうが良いと思います。

記事のURLは以下です。

<http://www.cabrain.net/news/article/newsId/26374.html>

まえのページ

あたらしいページ

パスワード

削除番号

1806

記事削除

powered by **du one**  
NET